## 看護職員の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画

2025年4月作成

項目	現状•課題	対応指針		R6年度(10月)中間評価	R6年度末結果·評価	R6年度 具体的計画	R7年度具体的計画
看護職員と他職種との業務分	業務により 看護ケアが や業務に専念	他協看でを確保しています。	薬剤師	①看護必要度、認知症ケア関連において介入し始めたが、業務軽減の評価はできていない ②時間延長対応した	②時間延長した	①加算に関わる薬剤関連の介入 ②日・祝日の勤務時間延長による負担軽減	①整形外科予測指示への介入 ②整形外科(周術期)せん妄プロトコル 作成
			リハビリ (各種)	①回復期病棟だけでなく、一般病棟でも定期的にグループ訓練や体操の時間を設け、複数名同時に離床活動に取り組めている。 ②回復期病棟では、病棟スタッフと情報共有を行い、リハビリ時間以外のADL動作に反映している。一般病棟で早期にADL自立するよう練習を促している。 ③病棟から依頼があれば行う体制にはしていたが少数である	・中間評価時同様、リハビリオーダー 毎に患者様の状況を電子カルテで確認 し、必要に応じて適切な疾患名や 起算日を提案できた ・また可能な限りオーダー翌日までには リハビリ介入をするように努め 手術まで時間がある場合は手術前 よりリハビリ介入した	②日常生活動作(食事、整容、更衣、トイレ等)定着 の為にリハビリ介入時の練習状況を情報共有を行い リハビリ時間外でも行えるようにする	・リハビリオーダー時に患者様の状況を常に確認し、適切な疾患名と起算日の修正案を必要に応じて提案する・リハビリテーション総合実施計画書の代行説明を行い、医師からのIC回数が過剰にならないようにする
			臨床検査 技師	①〜④を実施している 患者様への検査説明や次回受診の案 内等も引き続き行っている	①~④実施した。 患者様への検査説明や次回受診の 案内、採血後から受診までの流れの 確認や案内を行った	①追加検査の連絡とスピッツの作成 ②ECGとABIを病棟で実施する ③ホルター心電図の装着と除去 ④患者への検査説明(目的、報告日等)	①追加検査の連絡とスピッツの作成 ②ECGとABIを病棟で実施する ③ホルター心電図の装着と除去 ④患者への検査説明(目的、報告日等)
担			臨床工学 技士	①、②とも実施継続中	②についてはJME担当の人事削減した為現在看護部へ移行している。 シャント関連の手術件数が増えており 直接介助に入れるスタッフを今後増員	①透析患者の心胸比測定 ②人工関節置換術時紫外線照射	①透析患者の心胸比測定 ②手術室の麻酔器使用前点検 ③麻酔器の使用点検
			管理栄養 士	①、②とも実施継続中	①、②とも実施継続中	①MNAの入力、修正 ②適切な食事量・形態の提案	①MNAの入力 ②適切な食事量・形態の提案
			放射線科	回数が少なくなったが、状態の悪くないPtの送迎を実施、継続中。	12月までは人も少ない状況であったが1月に1人入職者も入った為、状態の	入院患者さんの送迎を実施	入院、外来患者の送迎の実施
			医療相談員	介入対象者として9月以降より強化してこれまで未介入としていた施設入所者なども早期介入をする流れを取っている。	中間評価時と同様に継続する事ができた	①退院支援の強化(ケアマネ連携、介護未申請のケースの早期介入、その他スクリーニングで未介入となったケースでもSWの介入は必要かを病棟と随時検討していく)	早期介入とIC同席による退院支援の 強化を図る
			医師事務	①オーダー入力・オーダーの訂正 検査案内	①オーダー入力・オーダーの訂正 検査案内実施した	①オーダー入力・オーダーの訂正	①オーダーの入力、訂正を行う
			医事課	①病棟クラークを配置し、患者様への 説明や案内を行えている。 ②代行入力を行った	①病棟クラークを配置し、患者への 説明や案内を行った。 ②代行入力を行った	①患者様への説明や検査案内を行う ②代行入力を行う	①患者への説明や検査案内を行う ②代行入力を行う
	1	L	l	!		ļ	<u> </u>

## 医師業務軽減及び処遇の改善に資する計画

## 2025年4月作成

項目	指針		R7年度 具体的計画·目標	R6年度 具体的計画 ・目標	R6度中間評価	R6年度結果·評価
職種との業務	業務改善推進委員会			①予測指示の活用の徹底 入院時、転棟時に予測指示が入力されているかを確認し スタッフが指示確認を確認し対応する事で、医師への 指示確認連絡を軽減する。		予測指示が入っていても、結果医師への連絡を入れている事も多く、指示内のアセスメントができていないのではないかという評価(看護師側)であった。緊急時には当然連絡は必要であるが、その視点での教育をしていく必要がある
	において各職種の 役割分担を検討する 事で医師の負担軽減 を図る事ができる よう業務改善に 取り組んでいる	薬剤部	①現行のタスクシフト・シュアの明文化 ②薬品マスタ 初期用法設定 ③外来査定への個別対応	①同成分の薬品マスタ削減および初期用法設定 ②セット処方の見直し	対応した。薬品マスタは院内は随時実施	①初期用法背設定は優先度が高い場合に対応した。薬品マスタは院内は随時実施院外の不動マスタは実施した。 ②取り組めていない
		管理栄養士	①栄養内容の提案 ②食事オーダーの確認・修正 ③アレルギーオーダーの入力・修正 ④ワーファリン食オーダーの入力	①栄養内容の提案 ②食事オーダーの確認・修正 ③アレルギーオーダーの入力・修正 ④ワーファリン食オーダーの入力	①~④を実施できた	①~④実施できた

## 医師業務軽減及び処遇の改善に資する計画

2025年4月作成

					2023年4月15成	
項目	指針		R7年度具体的計画·目標	R6年度具体的計画·目標	R6年度中間評価	R6年度末結果·評価
他 職 種 と	業務改善推進委員会 において各職種の 役割分担を検討 する事で医師の 負担軽減を図る事が できるように業務改善 に取り組んでいる	検査科	<ul> <li>・検査オーダー(重複や不足)の確認</li> <li>・依頼書の確認</li> <li>・依頼書の作成(COVID-19、PCR検査)</li> <li>・輸血実施日の変更の病棟への連絡</li> </ul>	・検査オーダー(重複や不足)の確認 ・依頼書の確認 ・依頼書の作成(COVID-19、PCR検査)	・検査オーダーの確認(重複や不足) 細菌培養依頼書の確認と作成を行っ ている	・検査オーダーの確認(重複、不足、日付) 細菌培養依頼書、コロナウイルスPCR検査 依頼書の確認と行った
		リハビリ	・リハビリオーダー時に患者様の状況を常に確認し、適切な疾患名と起算日の修正案を必要に応じて提案する・リハビリテーション総合実施計画書の代行説明を行い医師からのIC回数が過剰にならないようにする	・リハビリオーダー時に患者様の状況を常に確認し適切な疾患名と起算日の修正案を必要に応じてリハビリオーダーを依頼し速やかにリハビリ介入を行い治療の補助を行う	当スタッフは必ずカルテ情報、現病歴 既往歴等を確認して、必要に応じて 適切な疾患名、起算日の修正の依頼」 をおこなっている。 また可能な限りオーダー翌日までには リハビリ介入をするように進めている	者様の状況を電子カルテで確認し、必要 応じて適切な疾患名や起算日を提案でき
		放射線科	疑似照会、読影の補助、他検査 への相談	引き続き前年度の業務の継続 疑義照会、読影の補助に努める	指示をもらい、オーダー変更を実施 緊急性の高いSTAT画像の報告を行い 画像の相談にも対応している	前回検査と比較を行い、大きな違いを発見 できたら医師に相談報告を実施
		SW	早期介入とIC同席による退院支援の強化 を図る	①介入件数は増加しており、スクリーニング にてケアマネのいるケースや介護保険未 申請のケースは引き続き介入している	①早期介入を図ることで、問題のあるケースでもなるべく退院許可にあわせて退院支援を行うようにしている②IC同席を行う事で主治医との情報共有を図りやすく、その場で方向性の検討を行えるようにしている	
		ME	①透析患者の心胸比測定 ②シャント関連手術の直接	①透析患者の心胸比測定 ②人工関節置換術時の紫外線照射	継続中	シャント関連の手術件数が増えており、 直接介助できるスタッフを今後増員して いく予定
		医事課	①オーダーの代行入力 ②往診患者の代行入力	①オーダーの代行入力 ②往診患者の代行入力	①オーダーの代行入力 ②往診患者の代行入力 上記を行った	①オーダーの代行入力を行った ②往診患者の代行入力を行った
		医師事務	①非常勤を含めた医師の書類作成 ②外来代行入力・診察補助 ③オーダー入力の代行 ④癌登録 ⑤紹介状作成代行 ⑥身体抑制カルテ入力	①非常勤を含めた医師の書類作成 ②外来代行入力・診察補助 ③オーダー入力の代行 ④癌登録 ⑤紹介状作成代行 ⑥身体抑制カルテ入力	①非常勤を含めた医師の書類作成 ②外来代行入力・診察補助 ③オーダー入力・診察補助 ④癌登録 ⑤紹介状作成代行 ⑥身体抑制カルテ入力	①非常勤を含めた医師の書類作成 ②外来代行入力・診察補助 ③オーダー入力の代行 ④癌登録 ⑤紹介状作成代行 ⑥身体抑制カルテ入力